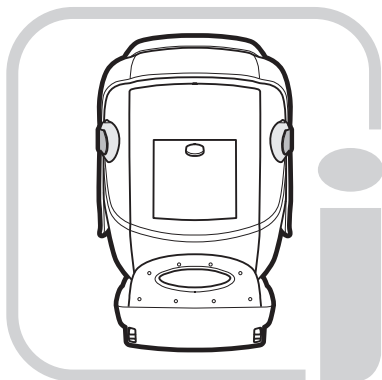




メイティターンロング

## Matey Turn Long



### 株式会社 シーエー産商

〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東米51

[www.ca-sansho.co.jp](http://www.ca-sansho.co.jp)

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日 ※弊社休日を除く)

**0120-034-017**

受付時間 / AM10:00～12:00・PM1:00～5:00

RM2001-2022-12



メイティターンロング

# Matey Turn Long

## 取扱説明書/保証書

ご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



R129/03



「サンシェード」は別売です。



「各部の使い方」「取り付け方」  
「お手入れのしかた」は、  
動画でもご紹介しています。



本装置は、身長**40～135cm**までのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り付け方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

本革シートの車内は、シートを傷めるおそれがあるため、そのまま取り付けしないでください。取り付ける場合は、必ず保護マット(別売)等を敷いてから取り付けてください。

## 目次

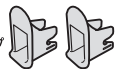
目次・梱包内容	1
■ご使用になる前に	2
本装置について／ご利用にあたって	2
各部の名称	3
本装置の使い方	5
取り付けできる座席 (ISOFIX取り付けの場合)	7
取り付けできない座席	8
使用できるシートベルト (ジュニアシートモード使用時)	9
使用できないシートベルト (ジュニアシートモード使用時)	10
安全にご使用いただくために	11
■各部の使い方	15
バックル・タンク	15
回転・リクライニングレバー (リクライニング)	16
回転・リクライニングレバー (回転)	17
肩ベルト	18
ヘッドサポート	19
ISOFIXコネクタ	20
インナークッション	21
サンシェード (別売)	22
■チャイルドシートモード	23
取り付ける前に (ISOFIXコネクタ/サポートレッグ)	23
ISOFIXコネクタ・サポートレッグの取り付け	24
ISOFIXコネクタの取り外し/サポートレッグの収納	26
お子様を乗せる前に	27
お子様の乗せ方/降ろし方	28
■ジュニアシートモード	30
取り付ける前に	30
本装置を車両に取り付ける	32
お子様の乗せ方/降ろし方	32
■お手入れのしかた	33
クッション、パッド、カバーの取り外し	33
クッション、パッド、カバーの取り付け	34
カバー・パッド・クッション/本体・ベルト等	36
■困ったときには	37
■保証規定/保証書	38

### 【梱包内容】

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

※へらは、お手入れの際にカバーを本体に取り付けるときに、ご利用ください。

ISOFIX  
ガイドキャップ  
(2個)



本装置

## ご使用になる前に

### 本装置について

本装置は、安全基準 (UN ECE R129/03)\*1 に適合しており、身長が40～135cmまでのお子様を対象とした、R129 (i-Size) 改良型年少者用補助乗車装置です。

\*1) UN ECE R129は、従来の安全基準 [UN ECE R44/04] 適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準 UN ECE R129の詳細については、弊社HP (QRコード) をご覧ください。



本装置は、身長が40～105cm (新生児～4歳頃) までは、チャイルドシートモード (生後15ヵ月までは必ず後ろ向き) として、身長が100～135cm (3～10歳頃) までは、ジュニアシートモードとしてご使用いただけます。

ISOFIX取付金具が装備され、サポートレッグ\*2が固定できれば、本装置は装着できますが、装備されていても車種によっては適合しない場合がありますので、必ず『車種別適合表』・車両の『取扱説明書』をご確認ください。

\*2) サポートレッグは、ジュニアシートモードでは使用しません。

●車両の『取扱説明書』において「i-Size」に対応すると表記されていない場合でも、取り付け可能な場合がありますので、『車種適合表』を参照してください。

### 〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用をお控えください。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決して使用しないでください。

ご不明な点は、お買い求めになった販売店または弊社「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

### ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご利用ください。

#### 警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

#### 注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

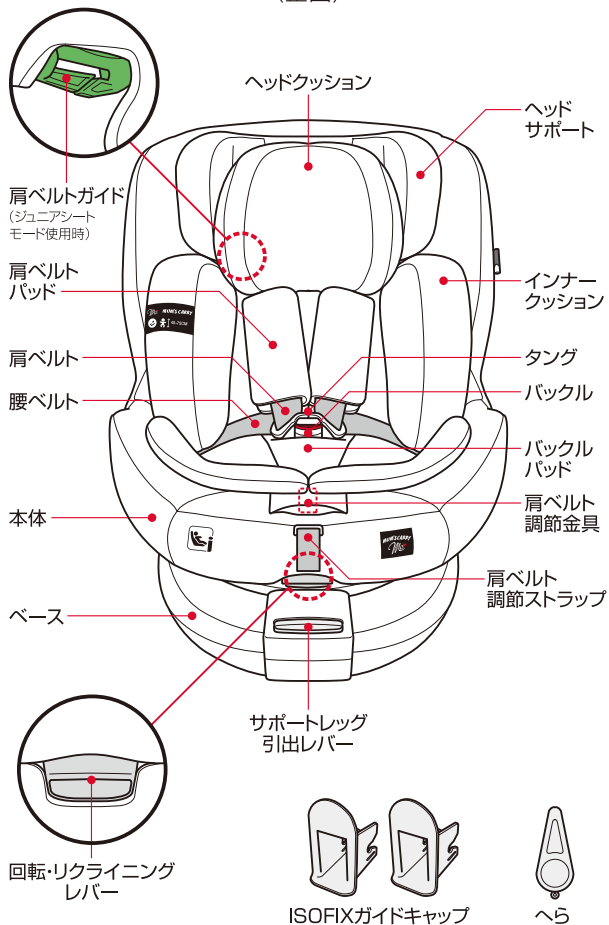
#### 補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

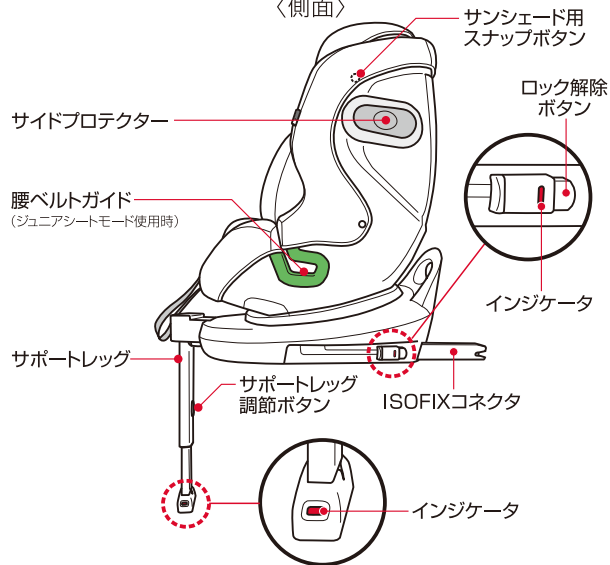
✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

# 各部の名称

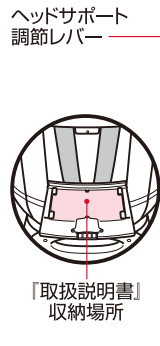
〈正面〉



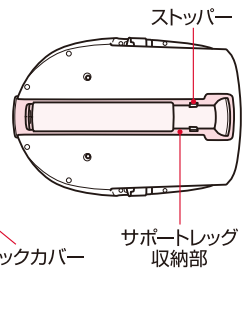
〈側面〉



〈背面〉



〈底面〉



## 本装置の使い方

お子様の身長に合わせて2通りの使い方があります

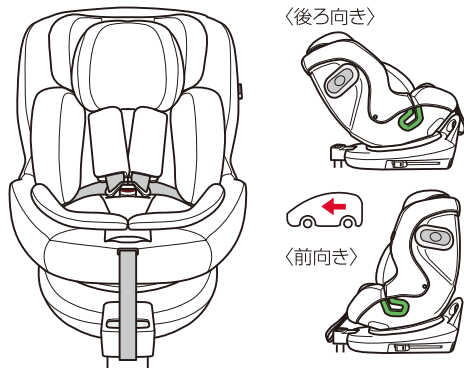
※体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

### チャイルドシートモード

身長40cm～105cm

- 適応年齢… 新生児～4歳頃
- 体重の目安… 約2.5～18kg

月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは、  
車両の進行方向に対して、必ず**後ろ向き**で使用。



**ISOFIXコネクタ**と**サポートレッグ**で取り付け、  
本装置の**肩・腰ベルト**、**バックル**でお子様を拘束  
します。

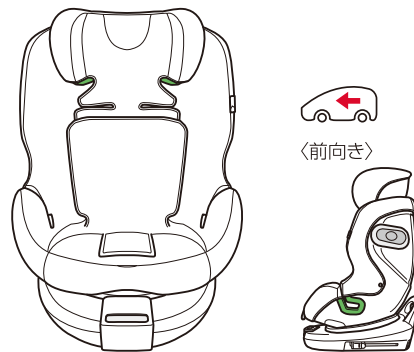


上記の条件を満たさないお子様には、  
絶対に使用しないでください。

### ジュニアシートモード

身長100cm～135cm

- 適応年齢… 3歳頃～10歳頃
- 体重の目安… 約15～32kg



肩・腰ベルト、バックル、サポートレッグを収納、  
インナークッション、パッド等を取り外して使用します。

**ISOFIXコネクタ**で取り付け、  
車両の**3点式シートベルト**でお子様を拘束します。  
ISOFIX取付金具の付いていない座席には、3点式シートベルト  
のみでも使用できます。ただし助手席には使用しないでください。



上記の条件を満たさないお子様には、  
絶対に使用しないでください。

## 取り付けできる座席(ISOFIX取り付けの場合)

### i-Size(アイサイズ)適合/ISOFIX取付金具装備

ISOFIX取付金具が装備され、サポートレッグが取り付けできる座席。車両の「取扱説明書」にi-Size適合、ISOFIX対応の表記や下記のマークがある座席。

※ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができますが、ISOFIX取付金具を装備したすべての座席に取り付けられるものではありません。ご不明な場合は車両の「取扱説明書」をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。

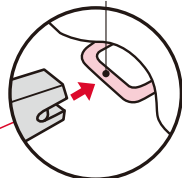
本装置のISOFIXサイズクラスは下記になります。車両の「取扱説明書」または車両をご購入された販売店でご確認ください。

●後ろ向きで使用(チャイルドシートモード) ●前向きで使用(ジュニアシートモード)

サイズ等級	D
固定具	ISO/R2

サイズ等級	B1
固定具	ISO/F2X ISO/B2

### ISOFIX取付金具



**補足** ISOFIX取付金具は、通常2列目の左右座席に装備されています。ISOFIX取付金具が座席に隠れて見えない場合があります。

本装置の下部をサポートレッグで固定して、衝突時の安全性を高めます。  
※ジュニアシートモードでは、サポートレッグは使用しません。

### サポートレッグ

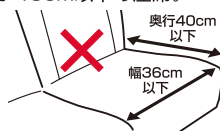


前方衝突時に、本装置が衝撃により、前方に倒れ込むのを防ぐためのものです。お子様の頭部移動量が少なくなり、その分衝撃を押しえます。

## 取り付けできない座席

●エアバッグが装備されている座席。  
※サイドエアバッグや、カーテンエアバッグのみの座席にはご使用いただけます。

●座面の幅が36cm以下、座面の奥行が40cm以下の座席。



●運転操作や、視界の妨げになる座席。

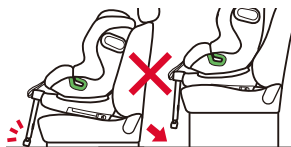
●緊急時に同乗者が脱出する際、妨げになる座席。

●サポートレッグが接地するフロアに、座席のスライドレールや床下収納スペースがある座席。



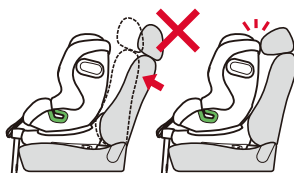
●本装置が車両のドアトリム等に干渉して、ドアを閉めることができない座席。

●フロアに対して座席が低すぎたり、フロアの形状によりサポートレッグが正しく取り付けできない座席。



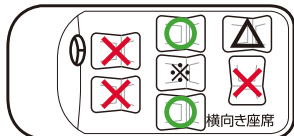
●座席と本装置の背もたれとの間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストと本装置が干渉して、固定が不安定になる座席。

※座席の背もたれを起こしたり、ヘッドレストを上下に調節したり外すことで、取り付けることができない場合があります。



●助手席には取り付けないください。

●進行方向に対して横向きや後ろ向きの座席。



○ 取り付け可能 × 取り付け不可  
△ ジュニアシートモードのみ取り付け可能  
ISOFIX取付金具が装備された座席の場合は○。

※弊社では3人掛け中央座席の適合確認は行っていません。

●本革シートの座席。

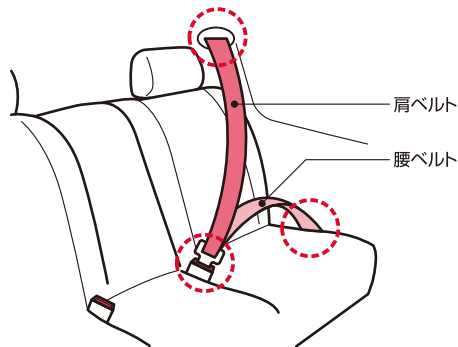
※シートを傷めるおそれがあるため、そのまま本装置を取り付けしないでください。取り付ける場合は、必ず保護マット(別売)等を敷いてからお取り付けください。

## 使用できるシートベルト（ジュニアシートモード使用時）

### 3点式シートベルト

必ず3点式シートベルトをご使用ください。

（腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト）



### 3点式シートベルトの種類



**ELR緊急ロック式**  
〈巻き取り機能付〉

ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢よく引くとロックするシートベルト。



**ALR/ELR**  
〈チャイルドシート固定機能付〉

すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなる。すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。



**その他**

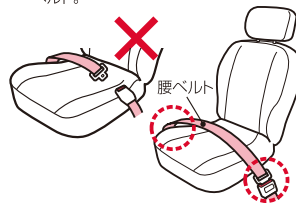
上記にあてはまらないシートベルトは、ジュニアシートモードで、ご使用いただけません。

※ご使用になる前に、車両の「取扱説明書」をご確認ください。

## 使用できないシートベルト（ジュニアシートモード使用時）

- シートベルトが装備されていない。
- 2点式シートベルト。

※ 腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。



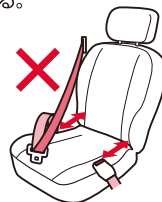
- 肩ベルトの出口が座席より前にある。（背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります）



- 腰ベルトまたは肩ベルトがドアに取り付けられている。



- 車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも約10cm以上前に出ている。



- 自動式ショルダーベルト（パッシュシートベルト）\*が、装備されている。

※ ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。



- 受け側のバックルベルトの長さが約15cm以上ある。（車両のバックルやタンクが本装置とあたり、しっかり締め付けができません。）



# 安全にご使用いただくために



警告

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

**月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまでは、車両の進行方向に対して、必ず後ろ向きで使用してください。**

**※本装置は安全上、後部座席に取り付けてご使用ください。**

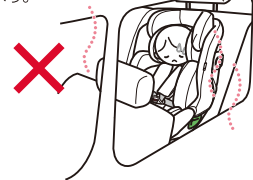
- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- 緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けしないでください。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- サポートレグを収納した状態で使用しないでください。衝撃時に機能が発揮できません。必ず高さを調節してからご使用ください。(ジュニアシートモード使用時を除く)
- 回転・リクライニングのロックがされていない状態で、使用しないでください。衝撃時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。
- バックルボタンの強さは安全規格で決まっていますので、お子様の力でもタングが外れる場合があります。バックルにタングが確実にロックされているか必ず確認をしていただき、お子様にバックルボタンを押さないように教えてください。
- 取り付け・取り外しの際は、本装置の可動部やISOFIX・金属部に手や指等を入れたり、挟まないように十分注意しておこなってください。
- お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対にししないでください。
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)

- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。

※サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。



- お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。



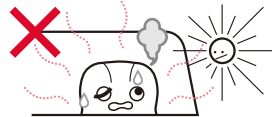
- ISOFIX・サポートレグがロックされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。

- 車両のシートベルトや本装置のベルトが傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、絶対に使用しないでください。

- お子様の負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

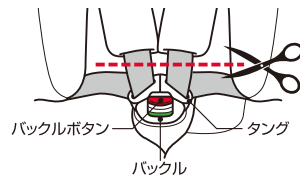
- 本装置を取り付けた後に、座席を前後にスライドしたり、背もたれのリクライニングをされた場合は、再度取り付けの緩み等がないか確認をしてください。

- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になる場合があります。



- 衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損のおそれがありますので使用しないでください。

- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押し下しても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをさみ等で切って、お子様を降ろしてください。





# 安全にご使用いただくために

## ⚠️ 注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

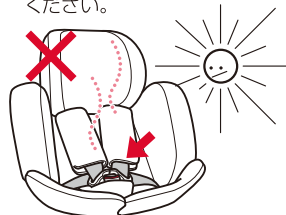
- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 走行や運転操作の支障になる座席には、取り付けしないでください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がった時、中腰にさせないようにしてください。
- 本装置に重いものを載せないでください。
- パッド類など本装置の部品が破損した状態で使用しないでください。
- 本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂部等に触れて、熱くなっているかを確認してください。

- 本装置を取り付ける際に、車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- 本装置のベルトがぬじれたり、緩んだ状態で使用しないでください。
- 本装置のバックルや可動部分に、水やジュース、ゴミや食べかす等が入らないように注意してください。万一入った場合は、お客様相談窓口へご相談ください。



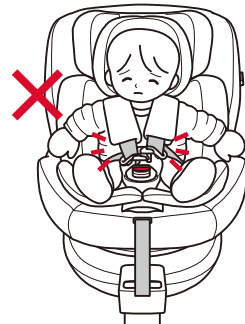
- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあります。

- 本装置を取り付ける座席には、マット類など何も置かないでください(本革シートなどのシートを保護するための専用マットは除く)。衝突した際、本装置の性能が十分発揮されない場合があります。



- 本装置をホコリが溜まりやすい場所に放置して使用すると、ISO FIXコネクタ等の可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。

- 極端な厚着や防寒具の上から本装置のベルトを装着すると、ベルトが緩むおそれがあります。お子様にベルトを装着した上から寒さ対策をしてください。



- 本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ずISOFIXコネクタやシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。



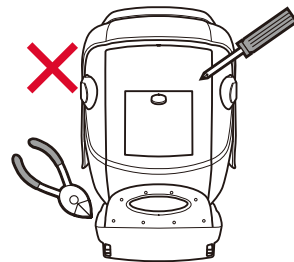
- 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、手前に引いてください。



- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。

- 本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。





# 各部の使い方

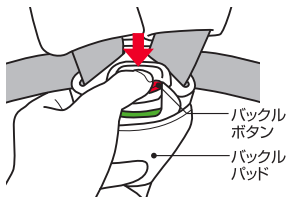


動画

## バックル・タング

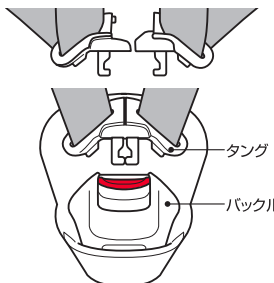
### ●ロック解除の場合

バックルボタン(赤いボタン)を下に押しすと、タングはバックルから解除されます。



### ●ロックする場合

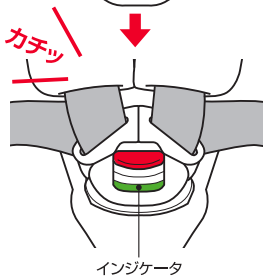
バックルパッドを引き下げ、左右のタングを合わせます。



タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。

※緑色インジケータが表示されます。

バックルパッドを引き上げます。



**警告**

バックルとタングをセットした際は、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



**注意**

バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入らないように注意してください。

バックルに片方のタングのみを差し込まないでください。タングが抜けなくなる場合があります。

左右のタングを合わせた部分に、強い曲げ力を加えないでください。破損するおそれがあります。

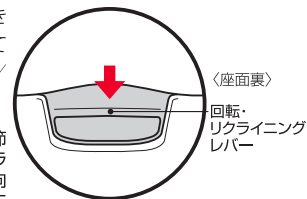


## 回転・リクライニングレバー(リクライニング)

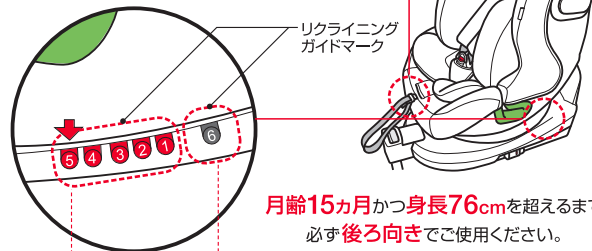
回転・リクライニングレバーを引きながら、本体を前後にスライドさせてリクライニング角度(前向き:1~5/後ろ向き:6)を調節できます。

**補足**

回転とリクライニングの調節が同時に行えますので、リクライニングの調節時は回転方向(左右)に力を加えないようにしてください。



回転・リクライニングレバーを離すと、本体はロックされます。



月齢15か月かつ身長76cmを超えるまで必ず後ろ向きでご使用ください。

**前向き**



**警告**

本体を揺すって、ロックされていることを確認してください。確実にロックされていない状態では、決して使用しないでください。

**後ろ向き**



**注意**

リクライニングさせる時に、お子様が手や指などを挟まないように注意してください。走行中はリクライニング操作をしないでください。

# 各部の使い方

## 回転・リクライニングレバー(回転)

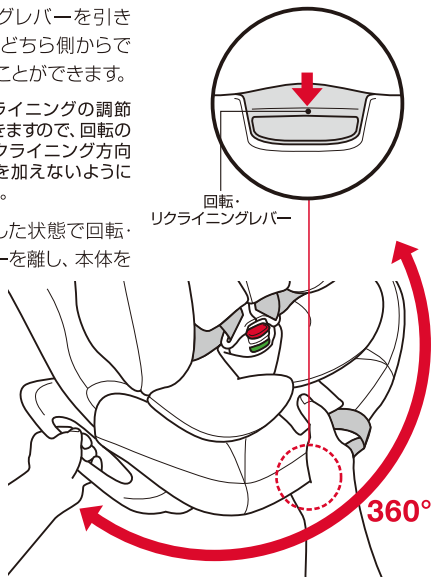
回転・リクライニングレバーを引きながら、本体を左右どちら側からでも360°回転させることができます。

### 補足

回転とリクライニングの調節が同時にできませんので、回転の調節時はリクライニング方向(前後)に力を加えないようにしてください。

前向き・後ろ向きにした状態で回転・リクライニングレバーを離し、本体をロックしてください。

※ロックする位置は前向き・後ろ向きの2カ所です。



月齢15ヵ月かつ身長76cmを超えるまで必ず後ろ向きでご使用ください。

横向きでは絶対に走行しないでください。



本装置のシート部を横向きにしたままで、絶対に走行しないでください。本来の機能を果たさず、たいへん危険です。

※お子様の乗せ降ろしの時のみ横向きにしてください。

走行する前に、必ず本体がロックされて回転しないことを確認してください。確実にロックされていない状態では決して使用しないでください。



回転させる時に、手や指などを挟まないように、十分注意してください。走行中に回転操作はしないでください。



## 肩ベルト

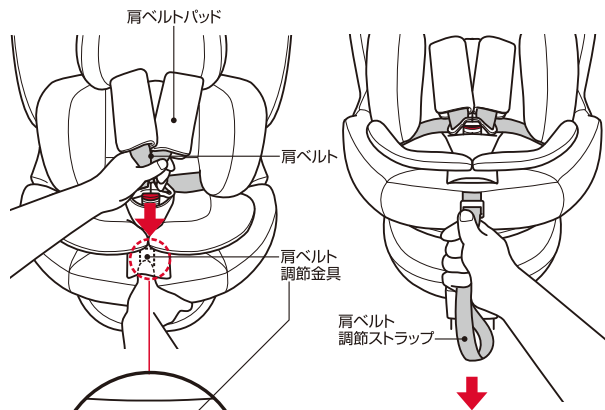
### 肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具をしっかり押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張ります。

※肩ベルトパッドを持って引っ張っても、肩ベルトは緩みません。

### 肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがありますので、手前に引いてください。



左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

### 補足

肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

# 各部の使い方

## ヘッドサポート

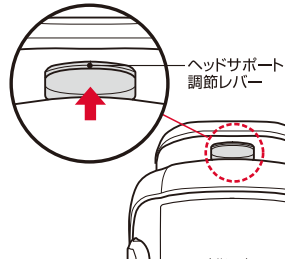
### ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節

肩ベルトを緩め、ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に調節することができます。

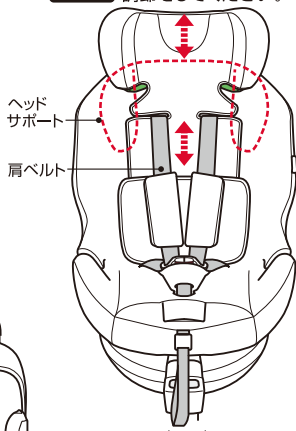
ヘッドサポートをお子様の身体に合った位置に調節してください。調節後は、確実にロックされていることを確認してください。

**補足**

肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さの調節をしてください。



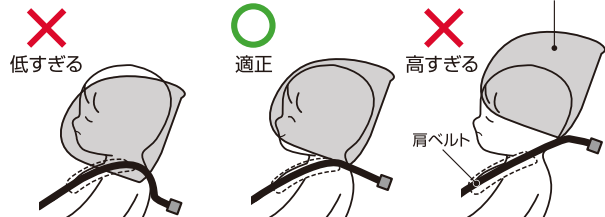
〈背面〉



〈正面〉

### 高さ調節の目安

肩ベルトの出口が、お子様の肩の高さと同じくらいの位置になるように、高さを調節してください。

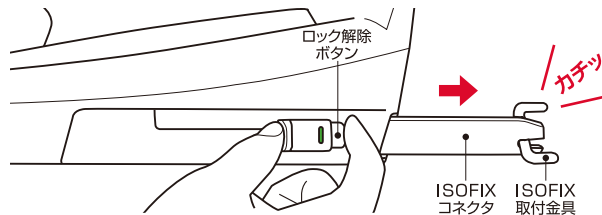
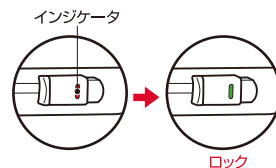


## ISOFIXコネクタ

### ロックする

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタを後ろ側に押し出してください。ISOFIXコネクタの先端をISOFIX取付金具に合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

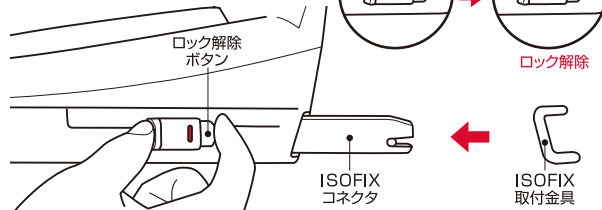
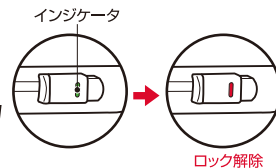
※インジケータは赤色から緑色に変わります。



### ロックを解除する

ISOFIXのロック解除ボタンを押すと、ロックは解除されます。

※インジケータは緑色から赤色に変わります。



**補足**

ロックを解除する際は、ロック解除ボタンを左右同時に押ししてください。

# 各部の使い方

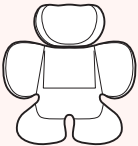
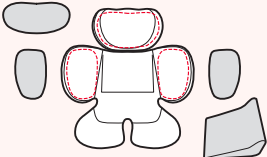

## インナークッション

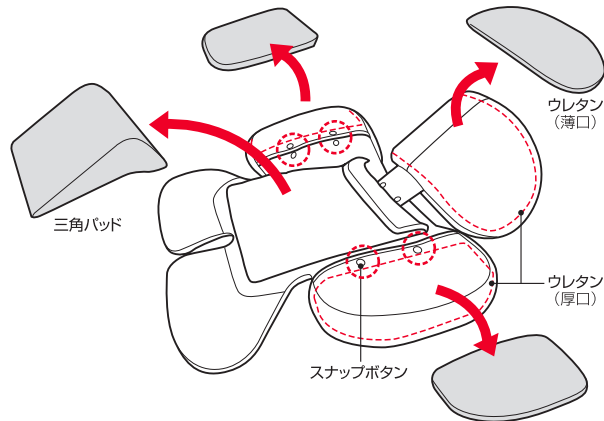
身長が75cm以下のお子様は、必ずインナークッションを取り付けてご使用ください。

よい条件は76cm以上(12ヶ月頃)で、腰と首がすわっていること。

身長が60cm以上のお子様は、体格、着衣により窮屈な状態でしたら、ウレタン(薄口\*)や三角パッドを取り外して調節してください。

\*ウレタンは厚口(内側)と薄口(外側)の2枚ずつ入っています。

身長 40cm~	60~75cm以下	76cm~
必ず使用する 	 ※お子様の成長に合わせて、ウレタンや三角パッドを取り外してご使用ください。	使用しない 



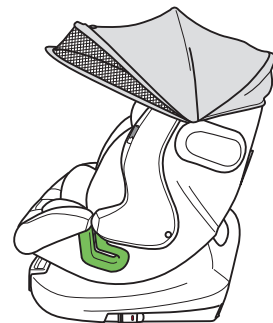
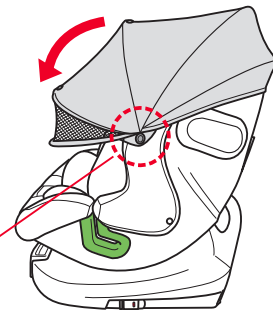
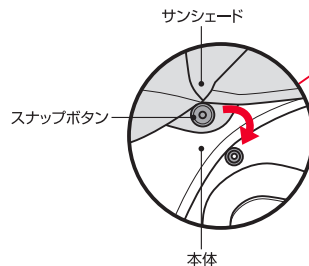
## サンシェード(別売)

(ご使用の目安)

本装置からお子様の頭が出る場合は、ご使用いただけません。

サンシェードの後部を本体上部に掛け、前に引き出します。

本体に、サンシェードのスナップボタン(左右)で取り付けます。



**注意**

走行時は、窓を開けての使用はしないでください。サンシェードが動くなどして、お子様がケガをするおそれがあります。

サンシェードを開閉させる時に指や手などを挟まないようご注意ください。

サンシェードのみを持って持ち運ばないでください。破損・事故のおそれがあります。

サンシェードをご希望の方は、右のQRコード(弊社HP/81shop→チャイルドシート用品)よりご購入ください。または「お客様相談窓口」☎0120-034-017までお問い合わせください。



# チャイルドシートモード

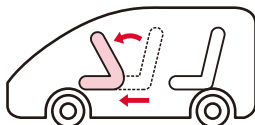
## 取り付ける前に<ISOFIXコネクタ/サポートレグ>

### 作業スペースの確保

後部ドアが全開可能な平坦な場所で取り付けをしてください。



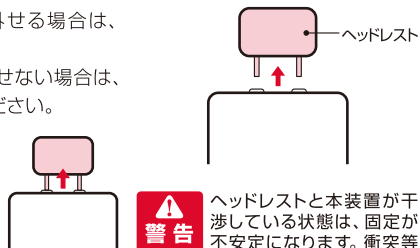
前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。



### 座席の準備

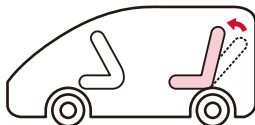
ヘッドレストが取り外せる場合は、取り外してください。

ヘッドレストが取り外せない場合は、一番上まで上げてください。



警告  
ヘッドレストと本装置が干渉している状態は、固定が不安定になります。衝突等の際に、性能を十分に発揮できない場合があります。

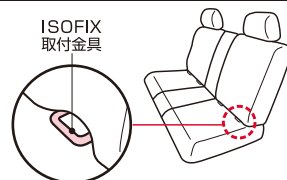
後部座席の背もたれがリクライニングできる場合は、本装置と背もたれとの隙間ができるだけ少なくなるように、調節してください。



## ISOFIXコネクタ・サポートレグの取り付け

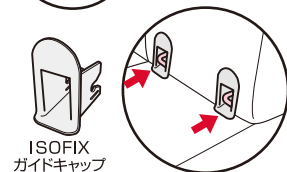
1

車両の座席の背もたれの下部分を少し押し上げて、ISOFIX取付金具の位置を確認してください。



ISOFIX取付金具が座席に隠れて見にくい場合は、付属のISOFIXガイドキャップを使用すると取り付けやすくなります。その際、上下の向きに注意して取り付けてください。

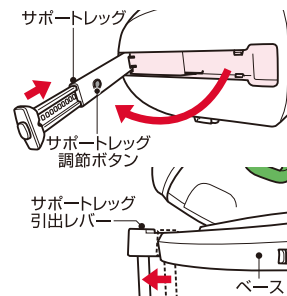
※ISOFIXガイドキャップは、車両によって取り付けできない場合があります。



2

本装置を横に寝かせ、ベースの底面に収納されているサポートレグを起こします。サポートレグ調節ボタンを押してロックを解除し、サポートレグを短くしてください。

本装置を座席に置き、サポートレグ引出レバーを手前に引いて、ベースの前にサポートレグを引き出します。



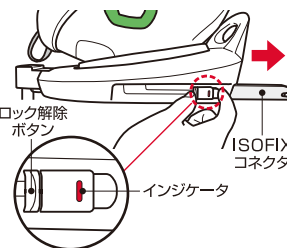
3

ISOFIXのロック解除ボタンを押しながら、左右のISOFIXコネクタを後ろ側に押し出してください。

※インジケータは赤色です。

補足

背もたれがリクライニングする車両でISOFIX取付金具に取り付けにくい場合、背もたれを少し寝かせて取り付けしてから背もたれを起こしてください。



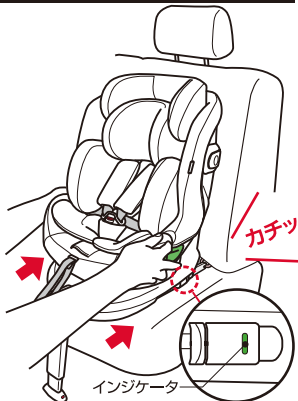
# チャイルドシートモード

## ISOFIXコネクタ・サポートレッグの取り付け

4

ISOFIX 取付金具に左右のISOFIXコネクタの先端を合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

※左右のインジケータが、赤色から緑色に変わったことを確認してください。



5

さらに、本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまでゆっくり押し込んでください。

本装置が確実にロックされているか、前後に軽く揺すって確認してください。

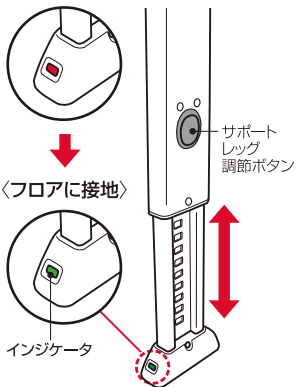
**補足** 座席の形状により、ISOFIX取付金具にISOFIXコネクタが届かない場合は、座席の背もたれを倒して取り付け、取り付けた後に背もたれを起こしてください。

6

サポートレッグ調節ボタンを押してロックを解除し、サポートレッグを上下させて調節します。

車両のフロアにしっかりと接地していることを確認してください。

※インジケータが、赤色から緑色に変わったことを確認してください。



**警告** 車両のフロアに接地していない状態で、決して使用しないでください。

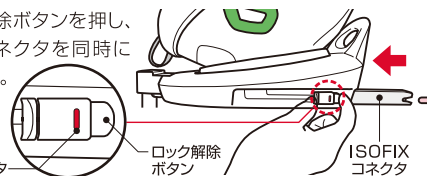
**補足**

後ろ向きでご使用される場合でも、前向きで取り付けから後ろ向きに回転(P17参照)させてセットしてください。

## ISOFIXコネクタの取り外し

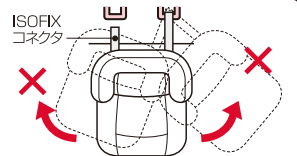
ISOFIXのロック解除ボタンを押し、左右のISOFIXコネクタを同時に引き抜いてください。

※左右のインジケータが、緑色から赤色に変わったことを確認してください。



**注意**

取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体をひねったり左右に揺ると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。



**注意**

左右のISOFIXコネクタをISOFIX取付金具に確実に差し込み、固定してください。固定されていないおと重大な事故・傷害を受けるおそれがあります。

**補足**

強く押し込み過ぎますと、ロック解除が困難になりますのでご注意ください。

## サポートレッグの収納

サポートレッグ引出レバーを事前に引いて、ベース側に押し込みます。

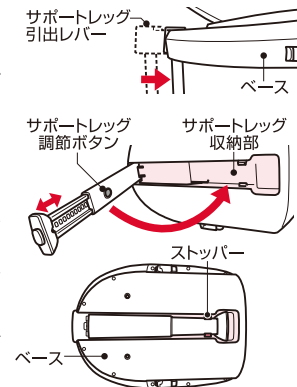
本装置を横に寝かせ、サポートレッグ調節ボタンを押してロックを解除し、サポートレッグの長さを調節して、ベースの底面に収納します。

**注意**

サポートレッグが、左右のストッパーで固定されていることを確認してください。

収納する際に、ベースと収納部との隙間で手を挟まないようにしてください。

ジュニアシートモードでは、必ずサポートレッグを収納して使用してください。





動画

# チャイルドシートモード

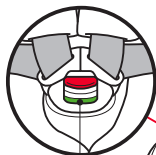
## お子様を乗せる前に

車両に確実に取り付けられているか、必ず確認をしてください。

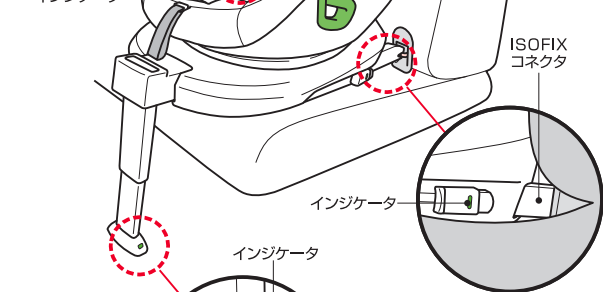
- バックルにタングを差し込んだ際、肩・腰ベルトにねじれがない。

※インジケータが緑色の表示になっている。

- バックル(タングの差込口)に飲み物や食べかす等が入っていない。



インジケータ



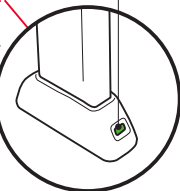
ISOFIXコネクタ

インジケータ

インジケータ

- 車両のフロアにしっかりと接地している

※インジケータが緑色の表示になっている。



- ISOFIXコネクタが、ISOFIX取付金具に確実に固定されている。

※インジケータが緑色の表示になっている。

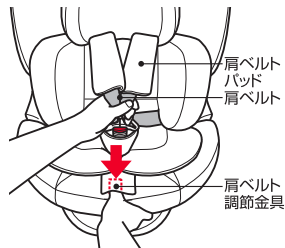
## お子様の乗せ方

1

お子様を乗せやすい位置に本体を回転させます。

2

切り込み口から指を入れ、肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って、手前に引っ張って肩ベルトを緩めます。

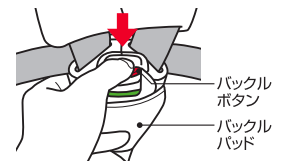


肩ベルトパッド  
肩ベルト

肩ベルト調節金具

3

バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タングはバックルから解除されます。

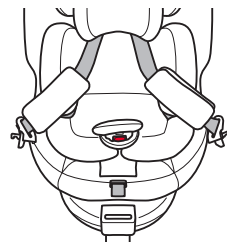


バックルボタン

バックルパッド

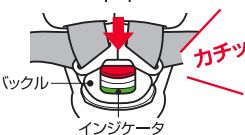
4

肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



5

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせ、肩ベルトの下にお子様の両腕を通します。バックルパッドを引き下げ、左右のタングを合わせます。「カチッ」と音がするまでバックルに差し込み、バックルパッドを引き上げます。



カチッ



注意

左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

※インジケータが緑色の表示になっていることを確認してください。



# チャイルドシートモード

## お子様の乗せ方

6

肩ベルトの高さを確認して、位置が合っていない場合は、高さの調節をしてください。(P18参照)

7

腰ベルトに緩みやねじれがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束してください。



**警告** バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたと、確実に固定されていることをご確認ください。



**注意** 肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。

タングの接合部に強い曲げ力を加えると破損するおそれがあります。

バックル(タングの差し込み口)に飲み物や食べかす等が入らないように注意してください。

肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

月齢15か月かつ  
身長76cm以下のお子様は  
必ず後ろ向きで使用

**補足** 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

## お子様の降ろし方

お子様の降ろしやすい位置に回転させます。

肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。

バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。

お子様の腕が肩ベルトに引っ掛からないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

# ジュニアシートモード

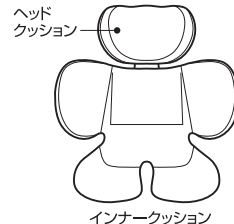


## 取り付ける前に

サポートレッグを必ず収納し、クッション、パッド類を取り外します。

1

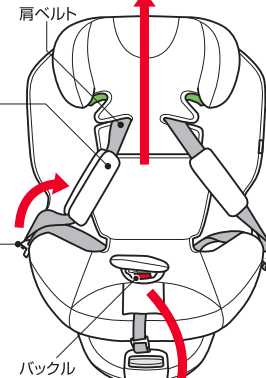
サポートレッグをベースの底面に収納します。(P26参照)



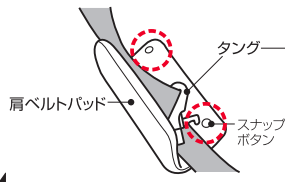
肩ベルトを緩め(P18参照)、タングをバックルから解除(P15参照)します。

2

ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。



3  
肩ベルトパッドの中にタングを収納して、スナップボタンで固定します。



4

バックルパッドをバックルから引き抜きます。



**補足**

取り外したヘッドクッション・インナークッション、バックルパッドをなくさないように、大切に保管してください。

# ジュニアシートモード

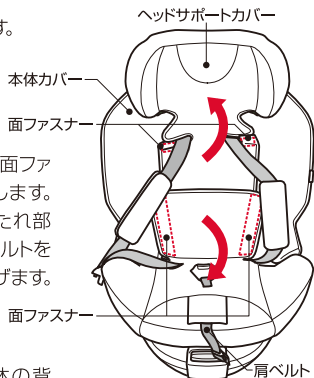
## 取り付ける前に

### 肩ベルトパッド・タングとバックルを収納します。

ヘッドサポートを引き上げます。  
(P19参照)

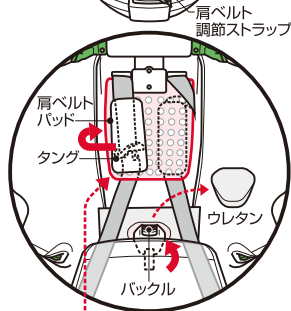
5

本体カバーの背もたれ部分の面ファスナーを外して、座面側に倒します。ヘッドサポートカバーの背もたれ部分の面ファスナーを外し、肩ベルトを外して背もたれ部分を引き上げます。



6

肩ベルトパッド・タングを本体の背もたれにある収納部に、バックルは、座面カバーの裏側に引き込み、座面の収納部を塞いでいるウレタンを取り外して収納します。



ここを持ち上げて、  
内側(収納部)に収納してください

**注意** 肩ベルト調整ストラップは、本装置から引き抜かないで本体カバーに収納してください。

**補足** 取り外したウレタンをなくさないように、大切に保管してください。

7

ヘッドサポートカバーの背もたれの部分を本体カバーの内側に入れ、背もたれの面ファスナーで固定します。

面ファスナー



## 本装置を車両に取り付ける

「ISOFIXコネクタを取り付ける(P24-P25)」を参照し、本装置を取り付けてください。

※サポートレッグは使用しません。

※ISOFIX取付金具の付いていない座席には、3点式シートベルトのみでも使用できます。



## お子様の乗せ方

1

お子様を深く座らせ、ヘッドサポートを頭の高さに合わせて調節します。  
(P19参照)

肩ベルトガイドフックに車両の肩ベルトのねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通します。



2

車両の腰ベルトが、お子様の骨盤の低い位置に掛かるように、左右の腰ベルトガイドフックに通し、タングとバックルをセットします。

3

車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)シートベルトに緩みがないように、確実に装着してください。

**注意** お子様の手や腕を、車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるようにしてください。

## お子様の降ろし方

車両のバックルボタンを押してロックを解除し、お子様を降ろしてください。

# お手入れのしかた



## クッション、パッド、カバーの取り外し

1

肩ベルトを緩め(P18参照)、タングをバックルから解除(P15参照)します。

2

ヘッドクッション・インナークッションを取り外します。

※ヘッドクッション・インナークッションの中に入っているウレタンと三角パッドを取り出しください。(P21参照)

3

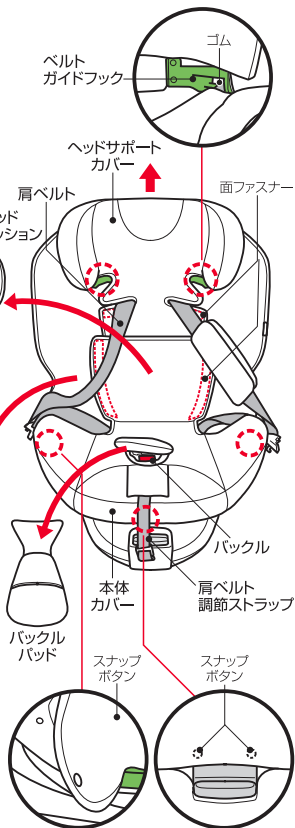
ベルトガイドフックに掛かっているゴムと面ファスナーを外して、ヘッドサポートカバーを取り外します。

4

肩ベルトパッドのスナップボタンを外して、肩ベルトから取り外します。バックルパッドをバックルから引き抜きます。

5

座面下側のスナップボタンと面ファスナーを外して、本体カバーを取り外します。



**注意**

バックル・タング、ベルトやストラップ類は、本体から取り外さないでください。

## クッション、パッド、カバーの取り付け

1

肩ベルトを緩め(P18参照)、ヘッドサポートを引き上げます。(P19参照) 本体カバーを取り付けて、バックルと肩ベルト調節ストラップを表側に引き出します。

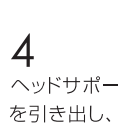
2

ヘッドサポートカバーは、ゴムをベルトガイドフックに通して取り付けます。ヘッドサポートカバーの裏側中央部を差し込み、付属のへらで押し込んでください。



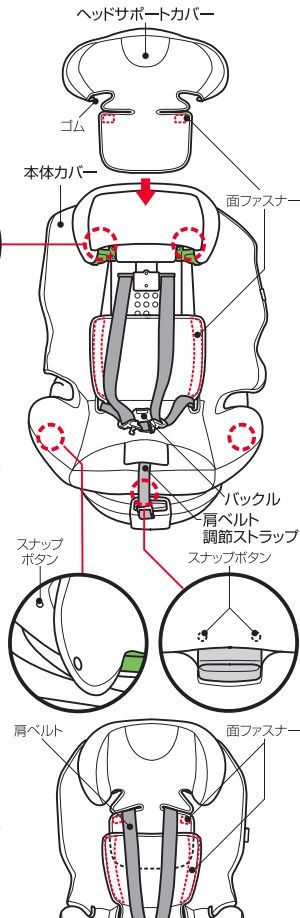
3

座面下側のスナップボタンで、本体カバーを固定します。



4

ヘッドサポートカバーから肩ベルトを引き出し、面ファスナーで固定します。本体カバーの背もたれ部分を面ファスナーで固定します。

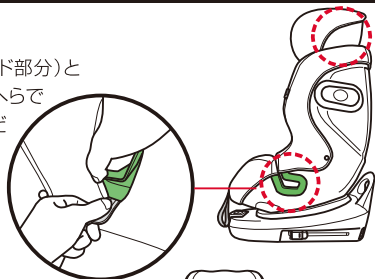


# お手入れのしかた

## クッション、パッド、カバーの取り付け

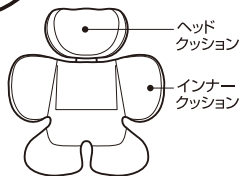
5

本体カバー（腰ベルトガイド部分）とヘッドサポートを、付属のへらで本体の溝に押し込んでください。



6

ヘッドクッションとインナークッションにウレタンと三角パッドを入れ（P21参照）、ヘッドクッション・インナークッションを本体に取り付けます。



7

肩ベルトパッドを取り付け、スナップボタンで固定します。

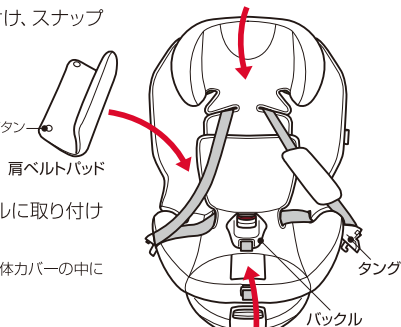
※スナップボタンが付いている方を、外側にしてください。



8

バックルパッドをバックルに取り付けます。

※バックルパッドの下部は、本体カバーの中に押し込んでください。



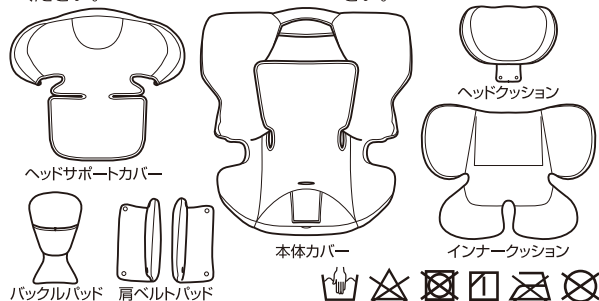
9

バックルパッドを引き下げ、左右のタングを合わせ、バックルにセットします。（P15参照）



## カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い、押し洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけは、しないでください。
- 脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル等で水分を十分取り、風通しのよい日陰で干してください。

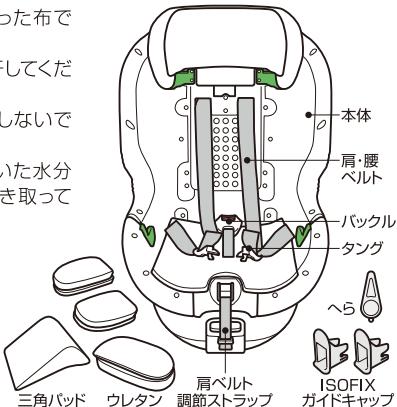


## 本体・ベルト等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



**注意** 肩ベルト調節ストラップ等は、本体から取り外さないでください。



## 困ったときには

弊社HP「よくあるご質問 Q&A(QRコード)」をご覧ください。解決しない場合は、「お客様相談窓口」(0120-034-017)までお問い合わせください。



### ●チャイルドシートを取り付けたのですが、安定せずグラグラする。

- 本体を軽く前後に揺すってみて、本装置が前後に動かないか、ISOFIXのインジケータが緑色になっているかを確認してください。  
※左右に動く場合は、使用上問題はありません。
- 車両の座席がリクライニングできる場合は、背もたれを前側に起こしたりすることで、しっかり固定できる場合があります。

### ●肩ベルトが緩まない。

- 肩ベルトパッドと一緒に肩ベルトを引いた場合は、肩ベルトは緩みません。肩ベルトパッド下側の左右の肩ベルトのみを引っ張ってください。(P18)

### ●肩ベルトがねじれて、タングが逆向きになった。

- 肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタングを通してください。

### ●ヘッドサポートが上がらない。

- 肩ベルトを十分緩めてから操作してください。

### ●バックルにタングが入らない。

- バックル(タングの差し込み口)にゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタングが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

### ●子どもの服が厚いためか、身体が少しきつそう。

- 肩ベルトを緩めて調節してください。(P18)
- インナークッションを取り外してください。
- 厚手の衣類は、しっかり装着することが難しくなりますので極力避けてください。装着した上から、ブランケットなどを掛けて防寒対策をしてください。

### ●バックルパッドやインナークッションを新たに購入したい。

- 弊社HPからご購入、または「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

### ●後席の運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がよいですか。

- 助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認しただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側のできるため、より安全です。

### ●廃棄したい。

- お住まいの各自治体の規定に従い廃棄してください。
- 本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合、外見上の破損がなくても決して使用しないでください。

## 保証規定

- ①本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。
- ②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
- ③保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
  - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
  - 縫製部品の傷やぶれ、変色。
  - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。
  - 有償修理時に要する送送費。
  - 保証書および販証明書のご提示がない場合。
  - 部品の紛失。
  - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
  - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
  - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
- ④原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
- ⑤製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
- ⑥事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
- ⑦保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑧ご購入、ご移動で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
- ⑨本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットオークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
- ⑩この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねる場合があります。  
※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。  
※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

## 保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名 MC メイティ ターンロング		お買い上げ年月日 年 月 日			故障内容記入欄
お客様	お名前	TEL			
	ご住所				
販売店	店名	TEL			
	住所				

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ごまじません。
- 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品買上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。